

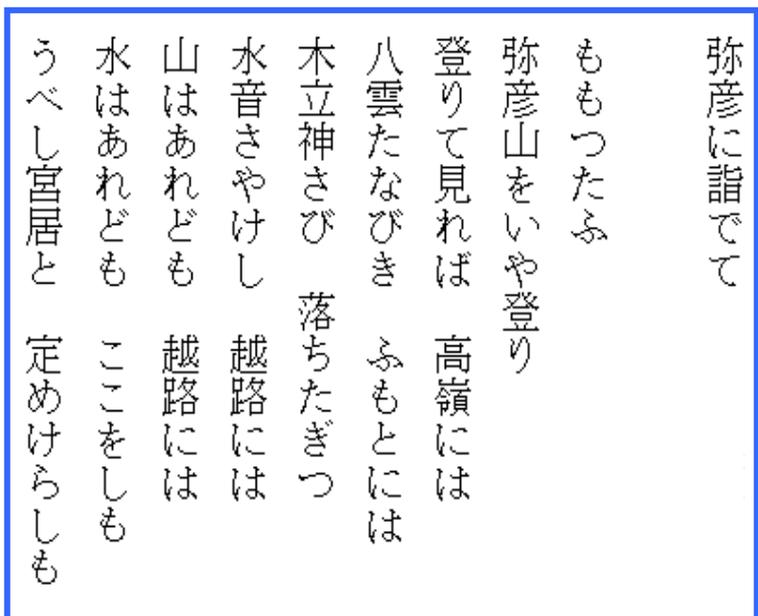
ワードの学習(縦書き、ルビ)

「ワード」を使って縦書きの文章を作り、ルビを振ってみましょう。

1. 「ワード」の起動: 「スタート」 「すべてのプログラム」 「Microsoft Office」 「Microsoft Office Word」をクリックして起動します (Windows Vista の場合は、「スタート」 「すべてのプログラム」 「Microsoft Office」 「Microsoft Office Word」)。

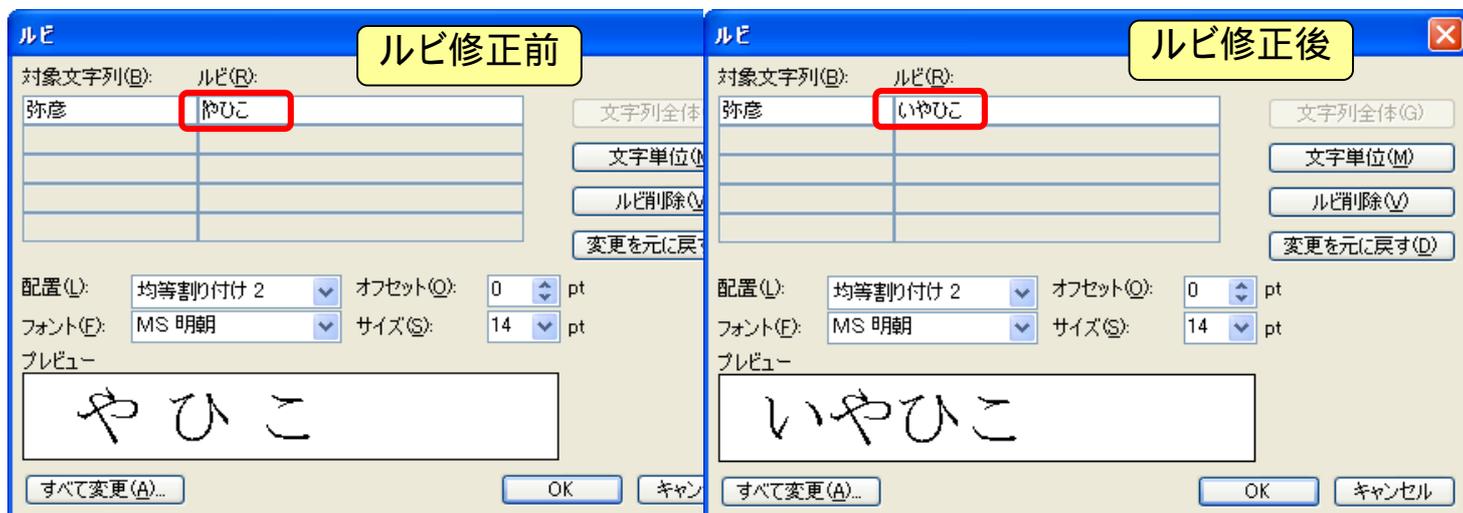
2. 「ファイル」 「ページ設定」で、次のように設定します。
(Windows Vistaの場合は「Officeボタン」 「印刷」 「印刷プレビュー」で設定)
「用紙サイズ」: 「A4」、 「文字方向」: 「縦書き」、
「印刷の向き」: 「横」、 「余白」: 上下左右すべて30mm程度とします。

3. 文章の入力: 今回は良寛の長歌「弥彦に詣でて」を題材に使用して、右記のように入力します。



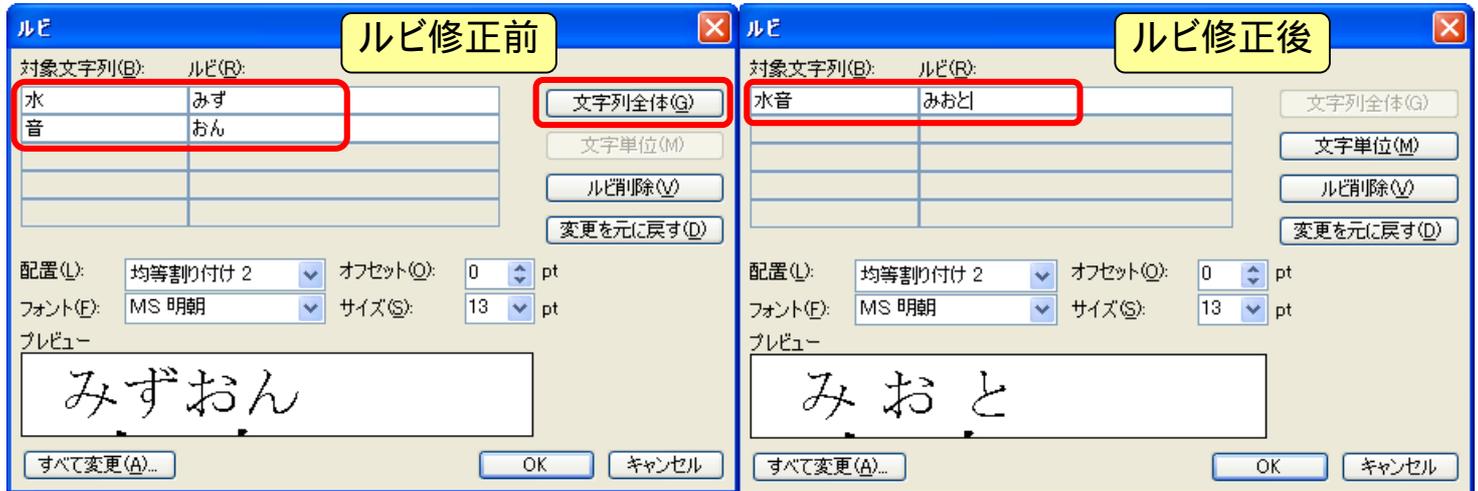
4. フォントサイズの変更: 「編集」 「すべて選択」をクリックすると、入力した文章全体が選択状態になります。その状態で「書式」 「フォント」とし、フォントのサイズを26程度にします。更に、タイトル「弥彦に詣でて」のみを選択し、タイトルのフォントサイズを28~30と大きめに指定します。

5. ルビの設定: ルビを振りたい文字列を選択し、「書式」 「拡張書式」 「ルビ」とクリックします。まず、タイトルの「弥彦」を選択してルビを設定すると、下図左の画面が現れます。そのルビ部分に「やひこ」と自動表示されるので、下図右のように「いやひこ」に変更し「配置」を「均等割り付け」として「OK」をクリックします。



(Win VistaではOffice「ホーム」 「ルビ」アイコン をクリックしルビ設定します)

同様に、本文についてもルビを振ってゆきますが、「水音」の箇所を下記します。「水音」を選択してルビを設定すると下図左のように、ルビ画面では「水」「音」と別々に表示されます。「文字列全体」のボタンをクリックし一つの文字列「水音」と表示させ、ルビの箇所には「みおと」とします(下図右側)。



6. ルビの削除: 振ったルビを削除するには、文字列を選択してから、「書式」「拡張書式」「ルビ」とクリックして「ルビ」画面を出し、「ルビ削除」のボタンをクリックします。また、ルビのフォントサイズや、本文文字列からのルビの離れ具合なども「ルビ」設定画面で変更することができます。

うべし宮居と
水はあれども
山はあれども
水音さやけし
木立神さび
八雲たなびき
登りて見れば
弥彦山をいや登り
ももつたふ
弥彦に詣でて

定めけらしも
ここをしも
越路には
越路には
落ちたぎつ
ふもとには
高嶺には

良寛書

完成文

備考: この題材は、弥彦神社に奉納された良寛書の額を元にしてしています